

第3章 評価の結果に対する対応方針

分科会の評価結果を受けて、国土技術政策総合研究所では以下のように対応する。

■平成24年度第2回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第二部会）（事前評価）

・地域の住宅生産技術に対応した省エネルギー技術の評価手法に関する研究

評価結果を踏まえ、研究実施にあたっては、本研究課題の対象者および対象技術を明確にすることに配慮しつつ、地域特性を活かした省エネルギー技術について具体的かつわかりやすく使い勝手のよい評価方法、および地域性や技術の多様性を損なわない評価手法となるように、研究を進めて参りたい。

また、地域気候条件の設定については微気候などにも配慮しつつ、より細かなデータを活用して慎重に研究を進めて参りたい。

また、省エネルギー技術については木材以外の材料の利活用も対象とするとともに、省エネルギー技術の導入に応じて得られるコストの評価にも留意して研究を進めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

■平成24年度第3回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第一部会）（事前評価）

・下水道施設の戦略的な耐震対策優先度評価手法に関する調査

評価結果を踏まえ、評価軸・評価指標について影響人口、産業規模等、評価の変数・パラメータの明示化、分析方法の明確化をし、最終的な研究成果を社会に役立てていくための具体的な活用方策も視野に入れながら研究を進めて参りたい。

また、平成9年耐震基準施設の被害状況も含めて東日本大震災から最大限の教訓を引き出し、将来の震災に備え下水道施設の耐震対策が進むよう情報整備をし、マニュアル等に反映するよう努力して参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

■平成24年度第4回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第三部会）（事前評価）

・港湾堤外地における津波からの安全性向上に関する研究

評価結果を踏まえ、研究の実施にあたっては、港湾堤外地の避難計画における「避難」のターゲットを明確にするとともに、港湾堤外地が場所や時期によってその様相が異なることを考慮し、被害状況や避難のパターンに応じた検討を行うことに留意し進めて参りたい。

また、港湾堤外地における労働者・来訪者のための津波避難計画の策定に資する実践的で有用なものとなるように十分配慮しながら研究に取り組んで参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

・東日本大震災によって影響を受けた港湾域の環境修復技術に関する研究

評価結果を踏まえ、本研究は継続性をもって取り組むべき課題であることを十分に考慮し、

長期的な研究の成果および位置づけなどに留意して、研究を行って参りたい。

また、東日本大震災からの復旧・復興のプロセスと現地調査等の調整を取りながら研究を適切に進めるとともに、追加コストの発生を抑制するなど開発された技術が社会の中で生きる技術となるよう留意して、研究を進めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

・ **港湾分野における技術・基準類の国際展開方策に関する研究**

評価結果を踏まえ、国内の技術・基準類のガラパゴス化への危機感を持ち、各国ニーズを柔軟に取り込むことができるように配慮するとともに、東南アジア以外への展開や欧米のみならず中国・韓国の動向にも十分に留意して、研究を進めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。